

事務事業名	21133 環境衛生事務費														
担当組織	環境経済部				環境課				担当	クリーン推進担当					
組織コード	R2	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	04	01	04	R2	01	04	01	04
	R1	15	04	00		R1	01	04	01	04	R1	01	04	01	04
													記入日	令和 2年 6月26日	

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補	
基本目標	04	緑と潤いのあるまち										● 対象  ○ 対象外		
分野	04	廃棄物・リサイクル												
施策	46	環境衛生対策の充実												
事業期間	平成16年度～令和2年度													
根拠法令通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市あき地の環境保全に関する条例 ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例						関連計画 施政方針		戸田市環境基本計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
対象	市民及び土地所有者													
事業目的	市民の環境美化意識を高め、きれいで安全で快適な生活環境を確保する。また、空き地を清潔に保持し、市内の景観維持や防犯を促進すること。また、スズメバチの巣の駆除等を実施し、市民の安全を守ること。													
事業内容	「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」を啓発し、市民の環境美化意識の高揚を図る。また、雑草等が繁茂している空き地について、その所有者へ草刈りの通告を行っている。また、スズメバチの巣の駆除等を実施している。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (      )													

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
	事業費		27,517	35,392	30,468	35,392	35,392	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	400	400	400	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	9,159	11,715	11,715	11,715	11,715	
		一般財源	18,358	23,277	18,353	23,277	23,677	
	人件費		7,806.72	7,806.72	7,806.72	7,806.72	7,806.72	
	投入 人員	常勤職員	1.14人	1.14人	1.14人	1.14人	1.14人	
		非常勤職員	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人	
事業費+人件費		35,324	43,199	38,275	43,199	43,199		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	定期パトロール	回	市内空き地のパトロール回数	4	4	4	
					4	4	-	
	成果①	放置雑草地等の改善件数	件	改善通知等により改善された件数	5	3	3	
					1	1	-	
成果②						-		
目標達成状況の分析		B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 放置雑草地の改善件数については、発生を抑制するとともに、発生した1件に対し、所有者に改善通知を発送し解決を図った。						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 空き地を清潔に保持するよう、土地の所有者に対し改善指導を実施している。ポイ捨て禁止条例啓発キャンペーンを市内3駅で実施し、環境美化意識の向上に寄与した。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 空き地の管理は所有者の費用で実施されている。条例啓発キャンペーンは、町会・自治会、関係団体等のボランティアにより、最小限の費用で効果的に実施した。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 適正に管理されていないため市民から通報があった空き地へは、直ちに現場を確認し、所有者へ改善通知を行っている。また、条例啓発キャンペーンは、朝の時間帯に実施することにより、効果的に啓発されている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 市内全域の空き地の保全に寄与している。また、スズメバチの巣の駆除も市内全域を対象としており、公平性が保たれている。

## 4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」によりJR3駅前を喫煙制限区域と定めているが、ルールを守らない者も見受けられることから、喫煙制限区域での喫煙に対し過料を徴収する条例改正を行った。（令和2年10月1日施行）条例の実行力を高めることにより、喫煙マナーの更なる向上を目指す。
見直しの効果	令和2年10月1日施行のため、施行後に効果を検証する。

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 市内の空き地の保全及びスズメバチの巣の撤去を実施するため継続する。また、市内の喫煙ルールについて、いまだに遵守されていない状況にあるため、引き続き喫煙マナーの向上を図る必要がある。
今後の取組方針	市民からの通報に迅速に対応し、空き地の所有者に改善通知を実施できるよう継続して取り組んでいく。また、「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」の一部改正により、駅前喫煙制限区域での喫煙に対し、令和2年10月1日より過料を徴収する。これにより条例の実行力を高め、喫煙マナーの更なる向上を目指す。

事務事業名	6999 狂犬病予防事業													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R2	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	04	01	04	03	01	記入日	令和 2年 6月18日
	R1	15	04	00		R1	01	04	01	04	03	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	04 緑と潤いのあるまち	○ 対象 ● 対象外
分野	04 廃棄物・リサイクル	
施策	46 環境衛生対策の充実	
事業期間	昭和41年度～令和2年度	
根拠法令 通達等	狂犬病予防法	関連計画 施政方針
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象	犬を飼っている家庭	
事業目的	市内における狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。	
事業内容	生後91日以上の子犬の登録者に対し鑑札の交付。狂犬病予防集合注射の実施と注射済票の交付。広報等を用いて狂犬病予防注射の実施を促進している。	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (      )	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
			狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等					
	事業費		1,583	1,240	1,548	1,240	1,240	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		1,583	1,140	1,140	1,140	1,140	
	一般財源		0	100	408	100	100	
	人件費		2,670.72	2,670.72	2,670.72	2,670.72	2,670.72	
投入 人員	常勤職員		0.39人	0.39人	0.39人	0.39人	0.39人	
	非常勤職員		0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	
	事業費+人件費		4,254	3,911	4,219	3,911	3,911	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	狂犬病予防集合注射の実施	回	市内会場にて予防注射を実施		4	4	4
	活動②					4	4	-
	成果①	狂犬病発生件数	件	市内での狂犬病発生件数		0	0	0
	成果②					0	0	-
目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 狂犬病発生件数が0件であり、事業目標は達成できている。							

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 狂犬病予防集合注射を実施し、狂犬病の発生を抑制している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 狂犬病予防に関する連絡費や印刷費が主な経費であり、最小の経費で実施することができている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 関係団体の獣医師の協力により狂犬病予防集合注射を実施する等、効率的に事業を実施している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 狂犬病予防集合注射の会場は市内で偏りのないよう実施している。また、休日も実施することで、働く世代の飼い主が予防注射を受けやすい環境を整えており、公平性が保たれている。

## 4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 狂犬病予防注射は法により義務付けされているため、100%の接種に向け、集合注射等の事業を引き続き実施する必要がある。
今後の取組方針	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、令和2年度は狂犬病予防集合注射の実施を中止したことから、畜犬管理システムを活用し、予防注射接種率の維持、向上を図っていく。

事務事業名	21134 清掃総務事務費													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R2	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	04	02	01	01	01	記入日	令和 2年 6月26日
	R1	15	04	00		R1	01	04	02	01	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	04	緑と潤いのあるまち									○ 対象 ● 対象外		
分野	04	廃棄物・リサイクル											
施策	46	環境衛生対策の充実											
事業期間	平成16年度～令和2年度												
根拠法令通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					関連計画 施政方針		戸田市環境基本計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	地域住民												
事業目的	不法投棄の回収・監視等を実施することにより、市内の環境美化を図る。												
事業内容	環境パトロールにより不法投棄物を回収している。また、環境パトロール及び市民の通報による不法投棄箇所の調査及び監視を実施している。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												

2. 実施結果

		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	事業内容	不法投棄及び ごみ減量化対策、 駅周辺の 公衆衛生確保	不法投棄及び ごみ減量化対策、 駅周辺の 公衆衛生確保	不法投棄及び ごみ減量化対策、 駅周辺の 公衆衛生確保	不法投棄及び ごみ減量化対策、 駅周辺の 公衆衛生確保	不法投棄及び ごみ減量化対策、 駅周辺の 公衆衛生確保	
	事業費	102,309	102,309	77,968	102,309	102,309	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	5,142	5,142	5,142	5,142
		一般財源	102,309	97,167	72,826	97,167	97,167
	人件費	10,545.92	10,545.92	10,545.92	10,545.92	10,545.92	
	投入 人員	常勤職員	1.54人	1.54人	1.54人	1.54人	1.54人
		非常勤職員	0.38人	0.38人	0.38人	0.38人	0.38人
事業費+人件費		112,855	112,855	88,514	112,855	112,855	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	不法投棄調査件数	件	通報及びパトロールによる回収件数	1,000 956	1,000 1,298	1,000 -
	活動②						-
	成果①	不法投棄個数	個	通報及びパトロールによる回収個数	4,000 2,733	3,000 4,001	3,000 -
	成果②						-
	目標達成状況の分析		C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 台風19号の被害に伴う災害廃棄物が不法投棄されたこともあり、不法投棄の回収件数、回収個数共に増加したため、目標を達成できなかった。				

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 不法投棄の監視やごみの減量対策を実施することにより、良好な地域環境を保持することができている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 関係団体の協力を得て不法投棄パトロールを実施する等、最小の経費で実施することができている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 不法投棄対策やごみの減量化に寄与している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 不法投棄対策やごみの減量化により市内全域の環境美化に寄与している。

## 4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 不法投棄対策や市内の環境美化のため、継続して実施する。
今後の取組方針	不法投棄の個数が増加していることから、パトロールなどを強化するとともに、不法投棄しないよう注意喚起を図り、ごみの減量化を視野に入れながら、引き続き不法投棄対策に取り組んでいく。

事務事業名	21137 し尿収集事業													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R2	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	04	02	02	02	01	記入日	令和 2年 6月26日
	R1	15	04	00		R1	01	04	02	02	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	04	緑と潤いのあるまち											○ 対象 ● 対象外
分野	04	廃棄物・リサイクル											
施策	46	環境衛生対策の充実											
事業期間	平成16年度～令和2年度												
根拠法令通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画						
事業区分	○ 法定受託事務      ● 自治事務のうち義務的なもの      ○ 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民及び汲み取り世帯												
事業目的	汲み取り式トイレのし尿等を収集運搬し、保健衛生環境を向上させること。												
事業内容	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬や手数料の徴収。また、花見会場における仮設トイレの設置。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (      )												

2. 実施結果

事業の予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
	事業内容		汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。					
事業費			7,296	7,614	7,119	7,614	7,614	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		9,000	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		4,712	966	966	966	966	
	一般財源		-6,416	6,648	6,153	6,648	6,648	
人件費			1,164.16	1,164.16	1,164.16	1,164.16	1,164.16	
投入人員	常勤職員		0.17人	0.17人	0.17人	0.17人	0.17人	
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費			8,460	8,778	8,283	8,778	8,778	
目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式		H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	し尿汲み取りの手数料	円	@320×一般利用人数+ @350×業務利用人数		1,073,000	950,000	800,000
	活動②					897,200	806,250	-
	成果①	汲み取り世帯からの苦情	件			0	0	0
	成果②					0	0	-
目標達成状況の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> し尿汲み取りや運搬を完全実施し、し尿汲み取り世帯の保健衛生環境の向上に寄与した(一般175人、業務24人、合計199人)。 なお、し尿汲み取り手数料の調定額は806,250円で、収入済額は786,130円、収納率は97.5%である。							

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 対象世帯のし尿汲み取りを完全実施しており、保健衛生環境の向上に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 費用対効果を鑑み、委託業務の見直しを図る等、経費の削減に努めている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 定期的にもれなくし尿汲み取りを実施し、市民からの要望に迅速に対応している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 対象は市内全域であり、市内の保健衛生環境の向上に寄与している。

## 4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	し尿汲み取り料集金業務委託について、口座振替の推進による対象世帯の減少や、費用対効果を鑑み、契約期間満了の令和元年9月末日をもって委託を終了し、10月からは職員が対応した。
見直しの効果	経費の削減を図ることができた。

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 下水道及び浄化槽への転換により、し尿汲み取り世帯は減少傾向にあるが、対象世帯の保健衛生環境の向上のため、継続して実施する必要がある。
今後の取組方針	対象世帯がなくなるまで実施する必要がある。し尿汲み取り手数料の徴収については、口座振替の促進を図る。

事務事業名	7006 蕨戸田衛生センター分担金													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R2	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	04	02	03	01	01	記入日	令和 2年 6月26日
	R1	15	04	00		R1	01	04	02	03	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	04 緑と潤いのあるまち	○ 対象 ● 対象外
分野	04 廃棄物・リサイクル	
施策	46 環境衛生対策の充実	
事業期間	平成17年度～令和2年度	
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	関連計画 施政方針
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの	
対象	市民、事業者、蕨戸田衛生センター	
事業目的	蕨戸田衛生センターにおける円滑で効率的なごみ処理事業の運営を支援すること。	
事業内容	ごみの焼却等処理、し尿処理及びセンター運営に伴う分担金を支出する。	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                    ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (一部事務組合)	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額 (千円)	令和2年度 予算額 (千円)	令和3年度 計画額 (千円)	令和4年度 計画額 (千円)	令和5年度 計画額 (千円)
	事業費		781,370	814,271	814,271	814,271	814,271
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源		781,370	814,271	814,271	814,271	814,271
	人件費		2,533.76	2,533.76	2,533.76	2,533.76	2,533.76
	投入 人員	常勤職員	0.37人	0.37人	0.37人	0.37人	0.37人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		783,904	816,805	816,805	816,805	816,805	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	蕨戸田衛生センター議会開催回数	回		4	4	4
	活動②				4	4	-
	成果①	分担金の支出額	円		804,295,000	827,137,000	814,271,000
	成果②				800,759,000	781,370,000	-
目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 蕨戸田衛生センターからの運営分担金については、家庭ごみの減量化が進んでいることもあり、目標額の上限より支出額を抑制することができた。						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 分担金を適切に支払うことにより、蕨戸田衛生センターの事業が円滑に実施され、安定的にし尿やごみの処理が実施される。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 本市、蕨市、蕨戸田衛生センターの3者において、「蕨市・戸田市・衛生センター連絡協議会」が組織され、経費は十分に精査されている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 蕨市と共に、一部事務組合である蕨戸田衛生センターを設置して、ごみやし尿の処理の集約化を図っており、持続可能な適正処理が確保されている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 市内全域から排出されるごみやし尿が円滑に処理されており、公平性は確保されている。

## 4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	なし
見直しの効果	なし

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 蕨戸田衛生センターにおける円滑で効率的なごみ処理事業等の運営を引き続き支援していく。
今後の取組方針	今後も市内の家庭ごみやし尿を安定的に処理するため、「蕨市・戸田市・衛生センター連絡協議会」等により十分精査し、継続して分担金を支払うことが必要である。令和元年度から4年間に亘り、蕨戸田衛生センターの施設延命化工事が実施されるため、必要に応じ市民への周知するとともに、ごみ処理等が滞ることがないよう努めていく。